

読者の皆様との交流頁

この頁を読者の皆様とATACとの相互交流に使っています。

読者の 一言

目指せ! ジャイニーズ系

弊社が2001年に上海に生産拠点を設立するための準備をしていた頃、香港にある日系金融機関に業況報告にお伺いした時に「主力ユーザーが上海に工場進出されることになりましたので、弊社も近くに進出します。この件については以前から情報収集していましたが、具体的な検討に入ってから1週間で決定しました」と報告をしましたところ、支店長から「日本企業とは思えない速さで、まるで香港企業の様ですね」というコメントを頂きました。

その時に改めて認識したのが『数年間、香港・中国でビジネスをしてきた結果、物の考え方や行動パターンが現地の色に染まり、日本人と中国人のハーフになってきた』ということ。

それ以来私は、アイドル的な少年を総称した『ジャイニーズ系』をもじって、JAPANESEとCHINESEをミックスした造語『JAINESE』を使い、「弊社は“日系”でも“中国系”でもない『ジャイニーズ系』です」と自己紹介しています。

最初のうちは冗談で使っていた言葉ですが、今では意思決定や行動の指針となっています。一昨年のSARS

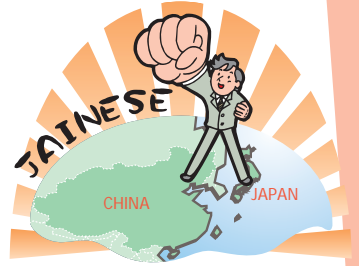
問題が発生した時に、中国に進出している日本企業は各社が様々な対応をしましたが、弊社の現地駐在の日本人はひとりも帰国することなく、現地の中国人スタッフと協力して難関を乗り切ってくれました。正直言って当時は色々迷いました。

しかし最終的に「日本人駐在者を帰国させない」という決断が出来たのは、『もし仮に国内にある工場周辺でSARSが発生したらどうするか?』という発想が出来たからです。

この決断を後押ししてくれたのは現地にいた日本人駐在者で、日頃から私が発信している『中国事業の基本理念』を理解し、まさしく体を張って実践してくれたことに感謝しています。

『ボーダーレスの時代』と言われて久しいですが、国境の壁だけでなく、『人の心の壁』を無くしていくためにも、『ジャイニーズ系』を流行させて行きたいと思います。

(株式会社三鈴 代表取締役社長 鈴木 雅也)



企業

PR コラム



光とナノテクノロジー 光と極限の夢

ナルックス株式会社 代表取締役社長 北川 清一郎

弊社は昭和38年より一貫してプラスチック光学素子の開発・生産に取り組み、国内初の拡大鏡のプラスチック射出成形に成功しました。当初は金型の研磨技術や成形技術がコア技術でありました。市場の要求により、カメラ・フォトセンサー等より高度な光学部品の要求にも対応してきました。その間、非球面、自由曲面、回折格子のコア技術を磨いてきました。さらに、産官学および独自の研究や開発に挑戦し、国立天文台の"スバル望遠鏡"大気揺らぎ補正光学素子や自由曲面レンズによるレーザープリンタ光学部品、光ディスク用回折光学素子など現在のデジタル家電の中核となる製品を市場に供給しています。

弊社の業務は光学設計から超精密金型加工、精密成形、評価のループを縦断した、一貫した開発・生産・品質保証を行うことです。今後は光学設計の革新に基づく形状の多様化や精度の向上への挑戦に取り組み、情報化社会、グローバル社会に対応するコンパクトでより高性能高機能な光学部品を、日本に根ざして、供給していきたいと思っています。

その一例として、独立行政法人 科学技術振興機構での委託開発事業の開発課題「三次元超微細構造プラスチック光学素子」(プレス発表:日刊工業新聞 平成16年11月15日)の成功に伴い、サブ波長格子による高機能化を計画しております。

サブ波長格子

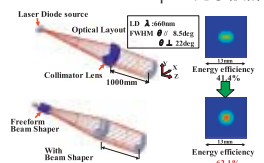


(a)サブ波長構造格子



(b)ビームスプリッター

Freeform Beam shaper 光学設計



光学素子を時代と共に進化させ、お客様と従業員に満足感を与える企業であり続けたいと思っています。ATACの方々の技術指導も得て、研究開発型企業を継続していきます。

各種光学素子



スバル望遠鏡



光量補正光学素子



提供: 国立天文台

NALUXナルックス株式会社

〒618-0001大阪府三島郡島本町山崎2目1-7
TEL:075-963-3456 FAX:075-963-3450
URL:<http://www.nalux.co.jp/>
E-mail:sei-kitagawa@nalux.co.jp



ATACホームページもご覧下さい

ATACニュース第10号に関するご意見、および今後のご要望をどしどしATAC事務局までご連絡ください。 担当/三原・梅村

ATAC事務局

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4
(財)大阪科学技術センター 技術・情報振興部
TEL06-6443-5323 FAX06-6443-5319
e-mail: atac@ostec.or.jp

URL <http://www.atac.ne.jp>